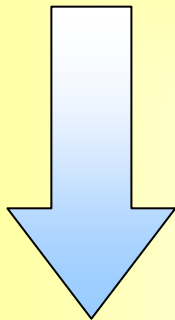


答申の構成について（案）

〔総論〕

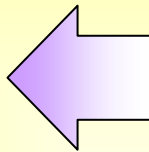
基本理念（なぜ男女共同参画を推進していくべきなのか）

〔 例 ・ 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会の実現
 ・ 男女が個性と能力を発揮することによる、多様性に富んだ活力ある社会経済の構築 〕



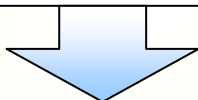
現計画策定後の社会情勢の変化と課題

〔 例 ・ 少子高齢化
 ・ 雇用・就業をめぐる変化
 ・ 家族をめぐる変化
 ・ グローバル化 〕



視点（男女共同参画社会の実現に向けて、今何が必要か）

〔 例 ・ 男女共同参画に興味・関心の薄い層への戦略的アプローチ
 ・ 多様な主体の連携・協働（第2ステージの具体化）
 ・ 多様なライフコースを想定した長期的な視点に基づく取組 〕



具体化

重点事項（どういった事項に重点的に取り組んでいくか）

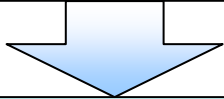
〔 例 ・ 女性の活躍の促進
 ・ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）
 ・ 地域における男女共同参画の推進
 ・ 女性に対する暴力の根絶
 ・ 困難な状況にある人々への支援
 ・ 男性にとっての男女共同参画 〕

推進体制

〔 例 ・ 国と地方の推進体制の整備充実
 ・ 地方公共団体、企業、大学、NPO、男女共同参画センター等との連携強化
 ・ 国際的協調・対外発信機能の強化
 ・ 風土の改革・気運の醸成、あらゆる年代層への意識啓発（表彰、広報等）
 ・ 監視・影響調査機能の強化
 ・ 苦情処理等のしくみの再検討 〕



今後重点的に取り組むべき分野の達成状況・評価、今後の施策の基本的方向と具体的な取組〔各論〕



新たな時代にふさわしい男女共同参画社会の実現